

日中友好新聞

府連通信

2015年6月号
 日本中国友好協会大阪府連合会
 〒530-0013
 大阪市北区芝田2-3-19
 東洋ビル本館207
 TEL06-6372-8131
 050-3413-6491
 FAX06-6372-8132
 郵便振替口座 00970-5-8978
 E-mail:jcfa@jst8.so-net.ne.jp
 ホームページ <http://www005.upp.so-net.ne.jp/jcfaosaka/>

北東アジアの平和と友好の旅

東学農民革命の激戦地や203高地へ

戦後七〇年を迎え日本コリア協 関わらず熱心に、自分が
 会大阪と大阪私学退職者の会三〇 どうしてこの研究に関わ
 名が、五月二六日から日清・日露 るようになったのか、韓
 戦争をテーマに韓国・中国を訪問 国徴兵制の経験話を交え
 しました。 お話を伺いました。翌

韓国に到着して日清戦争にかか 日もその関連施設をまわ
 わる東学農民革命の激戦地・牛禁 り、日本・清国（中国）
 峠（ウグムチ）を訪ね、東学農民 の戦いであるのに、なぜ
 軍慰霊塔に全員で黙祷し、ガイド 朝鮮が舞台になっている
 さんの説明を聞きました。東学農 のか理解できるようなら
 民革命の学術研究家の朴大学教授 り、日本は頼まれもして
 の話を全州韓屋村で、夜遅くにも いないのに干渉し、解決



しても居座って しまっていたと いうことでした。
 飛行機で青島（中国） こんな所まで戦いに来なければな
 に、政治的に冷えている らなかったのか、日本軍は旅順で
 日韓・日中の関係から旅 も大虐殺を行なっていました。ア
 行者も減っている韓国よ カシアが目的でしたが、温暖化の
 りさらに激減している中 せいか少し遅かったよう期待外
 国へ。青島といえはビー れとなりました。
 ル、そしてドイツと思っ 代表団八人は大連人民対外協会
 ますが、何とこの山東半 を表敬訪問しました。休日にもか
 島が日清戦争にも大いに かわらず、心よく受け入れられ、
 関係していたのです。中 監視のいる門をノーチェックでバ
 国側では甲午戦争と呼び、 スは玄関横付けです。



博物館ができていて歴史をしつか
 りと教えるようになっていきます。
 フェリーで山東半島から遼東半
 島の船旅です。夕食は船長さんの
 歓迎で、若い女性職員が各テ
 性職員が各テ
 ィブルについてく
 れ、船長さんた
 ちとの記念写真
 船長直筆の「書」
 もいただきまし
 た。大きく変貌
 している旅順・
 大連に到着。
 日露戦争の2
 03高地、旅順
 港へ、100年
 前と違い臨場感
 が薄れる感じ
 です。しかしな
 ぜ

大連人民対外協会からは「政治
 経熟の時代であり、民間交流が必
 要であり、経済面での交流を熱望
 する」渡辺団長は「私たちは草の
 根の民間団体ですから文化の普及
 と不再戦平和です。私たちは政府
 と違い歴史をはつきりと認識し、
 平和を守っていきたい」と力強く
 訴えられたことが印象に残りまし
 た。近代史をまともに習っていな
 い私たちにとって、とても勉強に
 なった中味の濃いハードな旅でし
 た。
 （平松）

行事案内

大阪府連大会
 七月五日（日）午後一時半
 大阪グリーン会館
望郷の鐘 今後の上映予定
 七月十一日 堺市南区梅文化会館
 八月二三日 泉南市文化ホール
 八月二九日 東大阪・大阪府立
 中央図書館ライティホール

太極拳攻防講座5に七七名 実際に相手と向き合う練習

六月六日から石清水八幡宮研 う一泊合宿の基礎講座です。
 修センター体育館に、西日本各 「太極拳を深く学び、正確に演
 地から七七名が参加しました。 じるため『攻防』の体験は大切
 西支部主催の太極拳攻防講座パ ーです。テレビ等で見聞きする、
 ト5は、より進化した内容で練 格闘や喧嘩ではありませんので
 習を行いました。 誰でも参加できますが、事前練
 目的は太極拳の攻防原理を学 習と復習を重ねることが必要で、



び、実際に相 本当の武術を学んでほしい」と
 手と向き合っ 指導に当たった恒岡老師が強調
 て感じてもら されています。
 男女六班に分け、実
 際に二四式の型を使っ
 てお互いがこぶしでつ
 いたり、一度受けを使っ
 て技をかける練習を行
 いました。「少しむっ
 かしかったが楽しかつ
 た、次の機会にも参加
 したい」との感想があ
 りました。

日中友好と平和を考える場の集い とても良い講演で、癒されました

涼しく爽やかな気候。千手院の座敷で開かれた講演会。講師の浅田宏樹さんは、十八歳から一人でも聞かせたい話。日本人・中国人の若者に聞いて頂けるよう今後、企画されたらと思えます。

「学び働き中国各地を訪問！中国の実際を語る」を発展に驚きました。「どうしても、自分の基準に合わせて他国を見てしまいがちだが、偏見無しに中国の話を聞いたのが良かった！」

若者の話を聞きたいと三十代から八十代までの幅広い年代が三四名集う。著名な方々も参加。東京から一人芝居「帰って来たおばあさん」の神田さち子さん。府連から山本恒人さん。日本共産党堺市議団団長の城勝行議員。みなさんを驚かせたのは長谷川暁子さん（長谷川テル女史の娘さん）の参加でした。

参加者の感想は「眼から鱗が取れた」という内容が多数。「マスコミ以外の眼で日中の話が聞けて良かった。」「中国に対して、先入観ばかりの生活。今回15年間の中国の様子を少し知ることが出来て良かった。」「中国も日本も関係ない！嬉しい言葉。ひとりひとりにこの感覚が溢れることを願っています。今日はありがとう！」

「70年前に残された日本人の子ども達を育て命を受け止めた心が中国人の中に今も続いていると感



講演会の終了後、準備されたお弁当を食べてお互いの交流を深める良き場になりました。

浅田 勝美（日中友好堺・美木多連絡会代表）

も大切な事柄です。偏見無し。ありのまま、今、大切な事です。」

長谷川暁子さんからは「とても良い講演で、癒されました。人間として成長しておられる若者を見て嬉しかった。出来れば多くの日本人の若者に聞いて頂けるよう今後、企画されたらと思えます。」

中国研究会 防衛大綱を基本資料に 軍隊としての自衛隊の全貌に迫る

河本正道氏（衛星都市嘱託）を講師に、五月二五日、府連教室で十一名が参加して行われた。河本氏は「防衛大綱」を基本資料に、「日本軍から防衛省・自衛隊へ」の流れ、「日本の防衛組織」、陸・海・空の主要部隊所在地、「防衛予算の仕組み」を概説するとともに、防衛省が作成した宣伝DVDの一端を示して、軍隊としての自衛隊の全貌に迫りました。

また、世論調査資料をもと

に、八割以上が自衛隊の「現状維持・増強」の考えにある現状をふまえ、「自衛隊解消」の方向性よりも、「専守防衛」の観点で自衛隊の存在は認められ、憲法改悪に反対し、そのうえで現在の「安保法制（戦争立法）」を阻止していくという方向性を考えるべきではないか、と問題提起しました。

議論では、「自衛隊についてまとめて考える機会になった」あるいは「やはり自衛隊は戦力であり、憲法九条に抵触する存在であり、解消すべきだ」「災害救助隊に限定すべき」「日本の外交力の低さが国民の自信喪失、および逆に対外緊張に対する神経質な反発をもたらしている」など活発な議論が行われました。

研究会ではさらに検討を続けていくことになりました。

第四回研究会 八月二三日（日）二時から **府連教室**

報告者 上田雅美氏（日中友好協会兵庫県連事務局長）

テーマ「廠舎（シヨウコウ）惨案」の地を訪ねて

（昭和十七・八年の支那派遣軍―江南殲滅作戦）（山本）

日中不再戦と平和のつどい
―安倍首相に過去の克服を進言する―
7月1日（水）18:30～

天満橋 **ドーンセンター** 参加協力費：1,000円
◎朗読劇「戦時下反戦放送・長谷川テルの生涯と遺児暁子」◎暁子氏による訴え「日中不再戦・平和友好の新たな誓い」◎野田淳子さんの演奏◎「昴」合唱

第2回中国百科検定
検定実施：9月27日（日）15:00～15:50

申込期間：6月1日（月）～8月7日（金）

受験コース：3級（ものしりコース）

2級（中国通コース）併願不可

受験料：3級3500円、2級4500円（税込）

受験のための**教養講座**

6/21（日）「中国の政治と経済早わかり」

講師：山本恒人氏（大阪経済大名誉教授）

会場：新婦人の会大阪府本部会議室

14:00～16:00（地下鉄 谷町6丁目駅下車）

7/12（日）「中国史をまるごと学ぼう」

講師：渡辺 武氏（元大阪城天守閣館長）

会場：大阪国労会館中会議室

14:00～16:00（環状線 天満駅下車）